

民生委員が設ける交流の場

ゆるかふえ みんなー

ゆるカフェ ミンジー



#地域カフェ #生田地区
#スタッフは民生委員児童委員
#第1会場はメンバーの自宅
#地域の見守り役・つなぎ役

お悩み

地域にどんな人がいるのか分からない...

民生委員児童委員の活動に必要な地域の情報を得たい！

民生委員の有志が運営する

なんでも相談できる場所

概要 「ゆるカフェミンジー」は民生委員児童委員※1の活動や役割を地域の方に知ってもらい、誰もが気軽に立ち寄れる地域交流の場にしたいという思いで令和4(2022)年9月から始まった取組です。

きっかけは、生田第2地区民生委員児童委員協議会内で「今から10年20年先にどんな地域に住みたいか」をグループに分かれて検討したときのこと。ミンジーの責任者である池谷さんらのグループでは、地域の情報を得るには“いろいろな人と顔見知りになれる日常的な交流の場が必要”と考え、カフェの実施に至ったとのことです。



スタッフは民生委員児童委員



大作自治会公民館で撮影

自治会の協力を得て第2会場での開催も

成果 開催中はいつ来てもいつ帰ってもいい、おしゃべりしてもボーッとしてもかまわない、というのがミンジーの売り。生田出張所の協力で“出張ゆるカフェミンジー”を開催した時には50名を超える来場者があり、ゆったり涼んで楽しんでもらえたとのこと。令和6年4月からは大作自治会の協力で毎月第3火曜日13時～16時に大作自治会公民館（西生田2-12-9）で開催しており広がりを見せています。

point

1 会場は民生委員児童委員の自宅！
使用料の課題とは無縁に！

立ち上げ当初、メンバーの自宅の未使用スペースを会場として活用。キッチンを使用できることが大きな決め手になったとのこと。生活スペースと明確に仕切ることができたので自宅を開放するという心理的負担も少ないそうです。

2 イベントはあえて企画しない！
居場所の持続性を優先！

運営する上で意識しているのは“何もしないカフェ”。イベントや講座をあえて行わないことで、お客さんにゆっくり過ごしてもらいたいという思いと、企画に追われてスタッフが疲弊しないようにする狙いがあります。

info

※1 地域から推薦されて国に委嘱された“民生委員児童委員”の概要は二次元コードをチェック！



発行年月

令和8(2026)年4月

発行元 多摩区役所地域ケア推進課